

長野県公共嘱託登記土地家屋調査士協会による「土地家屋調査士制度発祥の地」等の整備・清掃作業が行われました。

日 時 令和4年8月8日（月） 8時～15時

場 所 「土地家屋調査士制度発祥の地」「信濃の国の重心」「第Ⅷ系原点」

参加者 長野県公共嘱託登記土地家屋調査士協会 11名 広報部 1名

当日は松本総合体育館そばにある「土地家屋調査士制度発祥の地」に8時集合という事でしたが、15分ほど前に到着した時には既に作業が始まっていました。

作業の内容を簡単に言うと穴掘りをして標識の設置、基準点の清掃です。



その後、岡谷市と塩尻市にまたがる高ボッチ高原へ各自移動。駐車場から穴掘り道具や清掃道具（洗浄機・バケツ・水入りのポリタンク・雑巾他）、標識4本などを手分けし、高原の坂道を400m程ゆっくりと歩いてやっと現地へ到着。

1665mの山頂からは360度見渡すことができ、諏訪湖も一望できます。天気はとても良好でしたが少し風も吹いておりさほど暑くはなく、ラジコン飛行機を飛ばしている人や、ハイキングを楽しんでいる人たちが大勢いました。



そんな中作業を開始。石だらけで穴掘りがとても難航しましたが、標識4本をなんとか設置し、清掃作業を行いました。

「信濃の国の重心」防衛盤にはひっかき傷が無数にあり、どうやらその上に上る人、SNSに投稿するためか足を乗せて写真撮影をする人がいるらしい。「調査士の思いを踏んづけて」とまでは言わないけれども少しもの悲しい気持ちになりました。

作業をしていると「何をしているの？」と声を掛けてくれる人もおり、土地家屋調査士会・公嘱協会の名前を出しつつ説明や写真撮影をさせていただきました。



次は塩尻インターから山梨県長坂インターを経由して南牧村にある「第Ⅷ系原点」へと相当な距離の移動となりました。

作業内容は標識を1箇所設置し、防衝盤や看板の補修と清掃を行いました。

この第Ⅷ系原点は野辺山宇宙電波観測所（国立天文台）から車で数分の海ノ口馬市場跡の一角にあります。第Ⅷ系原点にちなんだ「ハツ星の鐘」がすぐ側にあります。8回鐘を鳴らすと幸せになれる？！ということですが、残念ながら今は騒音対策等により使用できなくなっていました。訪れた際は皆さん心の中で鐘を鳴らしてみてください。



全ての整備・清掃作業を終え15時解散、12名無事帰路につきました。

長野県の土地家屋調査士にとってはシンボリックな存在である3カ所の基準点を大切に思い、大変な作業で維持管理をしてくださっている社員の皆さんに感謝致します。

2022年8月 広報部